

はじめに

みなさんは、これから会計の勉強をはじめのわけですが、会計ができると、いったいどんないいことがあるのでしょうか？

会計というと、お金のことというイメージがあります。

会計ができると、お金のことがわかるようになります。

購入した財産が、高かったか安かったかがわかり、お金の使い方に無駄がなかったか振りかえることができます。

また、お金をどれだけ稼いでいるかもわかります。

稼いだお金で、足りているかもわかります。

いくらお金を借りたか、あといくら返さなければならないかもわかります。

会計によって「お金にかかわる出来事」がわかるようになると、お金の使い方がうまくなります。

お金の使い方がうまくなるとそれだけ豊かになります。

会計は、お金や数字ばかりで「難しそう」と思われていますが、会計がわかるにはコツがあります。本書でコツを理解しましょう。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、多大なご尽力をいただいた公益法人協会の軽部みどり氏に、お礼を申し上げます。

2019年5月

公認会計士 馬場 充